

科目名	環境都市工学特別研究	科目コード A3010
-----	------------	----------------

専攻名・学年	環境都市工学専攻 1, 2 学年 (プログラム3, 4 学年)	担当教官	環境都市工学学科全教官		
単位数	14 単位・必修	開講期間	通年	時間数	420 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(0), 演習( 0) 実験(420), その他(0)
教科書	特になし。各指導教官の指導。				
補助教材	特になし。各指導教官の指導。				
参考書	特になし。各指導教官の指導。				

A 科目の概要	
<p>専攻分野における特定の研究課題について、指導教官のもとで個々に研究(環境および材料・構造の分析・評価、計画案などの作成・評価)し、その成果を論文にまとめる。研究成果の学会への報告を目標とする。この科目において、一貫した研究行為を体験することにより、技術の開発・発表・適用に関する研究能力を養成する。テーマは以下の通りである。</p> <p>構造物基礎や土の性質に関する研究 微生物生態構造の解析と制御 地盤環境工学に関する研究 気水圏環境の解析研究 地震による間接被害に関する研究 沿岸域の環境改善に関する研究 地方都市計画に関する研究 コンクリートおよび鉄筋コンクリート構造物の耐久性に関する研究</p>	
B 到達目標	
学会発表に値する成果を目指す。	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	( E , G )
D 履修上の注意	
2 年間にわたる研究なので、本科の卒業研究よりかなり高いレベルの成果が期待される。この点に考慮し、ネットを利用した情報検索など、自主的で積極的な取り組みを要する。	
E 評価方法	
成果レポート(論文)の評価(主査 60%、副査 20%) , 特別研究発表会におけるプレゼンテーション、研究内容および概要集原稿の評価(全教官 20%) の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	・研究テーマの決定 ・研究への着手 ・研究テーマについての調査実験研究作業	
2	以後2週から29週同様	
30	特別研究中間発表会	ポスターセッション・概要集
週	内 容	備 考
31	・研究テーマについての調査実験研究作業	
32	以後32週から59週同様	
60	特別研究発表会 特別研究論文提出	概要集